

カリキュラム

機構施設名： 沖縄職業能力開発促進センター
実施機関名： 株式会社日本能率協会コンサルティング

B. 生涯キャリア形成	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
役割の変化への対応	

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。
---------	---

講義内容	「基本項目」		「主な内容」	訓練時間(H)
	1	職場の課題	1. 企業経営と組織 ・企業として努力していること ・企業における組織階層 2. 職場の課題 ・日常業務遂行における課題 ・将来を見据えた課題 【演習】認識している職場の課題を抽出する	1.0
	2	求められる役割	1. 中堅・ベテラン社員の求められる役割 ・管理者のサポーターとしての役割 ・実務者のリーダーとしての役割 2. 後輩指導のポイント ・人材育成の3つの手法(OJT/Off-JT/自己啓発) ・ティーチングとコーチング ・後輩の育成要素(知識・スキル・マインド) ・育成の基本ステップ 【演習】後輩育成上の課題を抽出する	1.5
	3	ティーチングを活用した指導法	1. 指導すべきことの見える化 ・一人前になるために必要なナレッジとは ・ナレッジの管理体系表 【演習】業務の棚卸しからナレッジの管理体系表を作成する 【演習】職場の基礎知識一覧表を作成する 2. 業務ナレッジの見える化 ・業務マニュアルに記載する内容 ・業務マニュアルの記載方法と重点 【演習】現在の業務マニュアルを評価する 3. ティーチングの流れ ・指導の手順 ・指導上の留意点	2.0
	4	コーチングを活用した指導法	1. マインドを整える ・信頼関係を築く 【演習】信頼を築くための課題を整理する ・一人前になるという意欲を高める 【演習】仕事への誇りを言葉にする 2. 任せた仕事を見守る ・仕事の任せ方 ・見守り環境をつくる	1.5
合計時間				6.0

カリキュラム作成のポイント
・建設コンサルの特性(社員一人ひとりの知識・スキルが生産性に大きく影響すること)を考慮したカリキュラムを作成します ・できるだけ演習を多くし、参加型のカリキュラムにします ・実践的な内容にします